第4学年1組　国語科　単元学習プラン

児童数 26 名　授業者　沼澤　豊

1　単元名「友情のかべ新聞・スワンレイクのほとりで・ごんぎつね」

～言葉に着目しながら根拠を明確にして読みの視点を広げよう～

2　単元の目標

(1)　物語の叙述から登場人物の相互関係や気持ちの変化を表す言葉や文に着目し、物語の構成や人物像、叙述の効果について理解することができる。　【(1)1-ウ・オ】(知識・技能)

(2)　登場人物の心情や行動の理由について根拠をもとに自分の考えをまとめ、互いの意見の違いを意識しながら話し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。　【(2)-エ】(思考・判断・表現)

(3)　登場人物の関係性や生き方について考え、友達との討論を通して多様な見方・考え方に触れようとするとともに、進んで自分の読みに生かそうとすることができる。

3　子どもが働かせる見方・考え方

○人物の行動や情景を、叙述と結び付けて捉える。 ○言葉の選び方や使われ方の効果を吟味する。

○登場人物の心情の変容を、前後の文脈や場面ごとのつながりなどから多面的に捉える。

4　単元構成(単元計画全30時間　ごんぎつね本時6/10　※3つの単元を同じ構成で積み上げていく)

| | 主な学習活動【□】 | 子どもの考え(A児を中心に)【○】 |
|---|---|---|
| 集団追求過程 | □本文を音読する。<br><br>□物語の大筋を確認し、どのように学習を進めていくか、どんな見方をしながら読み進めていくか見通しをもち学習計画をたてる。　(2h) | ○これまでの物語でも読んできたけど、今回も言葉に着目して読み進めていきたいな。<br>○登場人物や場面はまず、みんなで確認して、そこから今回の視点を意識して読み進めていこう。<br>○まずは個人でしっかり読み進めよう。その中で、理解を深めるためにグループで相談もしてみたいな。 |
| 個別追求過程 | □必要な情報を確認し、視点に合わせて物語文を言葉や場面、登場人物の行動の変容に着目しながら読み進める。<br><br>□必要に応じてグループでの相談を織り交ぜて、個人の読みを深めていく。　(4h) | ○ごんがどんなきつねなのか、兵十はどんな人物か捉えないといけないな。場面ごとにどんな行動をとっているのか見ていこうかな。<br>○なぜごんは、毎日栗やまつたけを届けたのだろう。兵十とのすれ違いの部分も気になるな。<br>○話の最後のゴンと兵十はどうなったのだろう。この終わり方も何か伝えようとしている気がするな。 |
| 集団追求過程 | 本時の目標　本文の根拠をもとに、登場人物の関係性について考えを交流し、自分の読みを深めることができる。<br><br>■討論テーマ1について、自分が読み進めてきた見方をもとにしながら考えを交流して、自分の読みを深めていく。　(1h) | 討論テーマ1:ごんは最後に報われたといえるか、いえないか。(未定)<br>1　討論テーマについて自分の意見を示す。<br>○私は、報われたと思います。その根拠となるのは、兵十が最後に言った「お前だったのか」と気づいていたからです。きっとそのときの兵十の頭の中では、栗やまつたけなど、不思議に思っていたことがつながったのではないかと思うからです。<br>○私は報われなかったと思います。最後にうたれてしまったし、思いがすれ違ったままになっていたから、ごんには悔いが残っていると感じ、それを表しているのが、最後の青い煙ではないかと感じたからです。<br><br>2　出てきた意見をもとに、今の段階での最終的な自分の考えをもつ。<br>○やはり私は報われなかったのかなとも思います。最後の青い煙が細く出ていたという表現からはお互いの思いが伝わらなかったという悲しみもあるとも思いました。 |
| 個別追求過程 | □討論で感じたことをもとにして、もう一度個人としての読みを深め、次のテーマについての考えを作っていく。　(1h) | ○やはり、ごんのこれまでの生き方と最後が関係していたのかもしれないな。かわいそうだけど救われたと捉えてもいいのかもしれないな。では、ごん自身はどうだったのかな。 |
| 集団追求過程 | □討論テーマ2について自分が読み進めてきた見方をもとに、考えを交流する。　(1h) | 討論テーマ2:最後の「うなずきました」に込められたごんの思いは何か(未定)<br>○「ごんはうなずいた」ということは、兵十の発した言葉から、これまでの自分の思いがやっと届いたと安心できたのではないかと考えました。 |
| 個別追求過程 | □自分の読み方を振り返り、次に生かせる見方を確認する。　(1h) | ○言葉一つ一つには、様々な思いが隠されているな。これまでの見方も使って次の作品も読み深めることができそうだ。どの話でも、登場人物の行動を順に追っていき、その周りで使われている言葉に着目すると、深く内容を掴むことができるな。 |